

IRB番号「2022-GB-110」

研究課題名「Eurolung risk modelの有用性の検討」

1. 研究の対象

2010年1月1日から2017年12月31日までに当院で原発性肺癌に対して初回手術として肺葉切除以上の肺切除＋縦隔リンパ節郭清術を受けられた方。

2. 研究の目的・方法

欧州のデータベースから開発された「Eurolung risk model」という、個々の肺癌患者さんの手術の危険性を評価するモデルが存在します。本研究ではそれが日本人肺癌患者さんに対してもどの程度の有用性を示すか検証することを目的とします。
上記対象に該当する患者さんの臨床情報をEurolung(スマートフォンアプリケーションとして提供)に入力し、Eurolung2(予測死亡率)/Eurolung1(予測合併症率)を算出し、主に前者の数値を利用します。
算出されたEurolung2と、術後全生存率、術後再発率、術後肺癌特異的死亡率との関連を評価します。
全症例を任意に算出したカットオフ値で群分けし、各群の患者背景や生存率の比較、臨床での応用が可能かといった点を評価致します。

3. 研究期間

承認日 ～ 2023年12月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。

情報：①臨床所見(年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、術前併存症、臨床病期)
②検査所見(CT所見)
③手術データ(アプローチ、術式)
④病理所見(病理病期、組織型、脈管・胸膜浸潤、肺内転移、遺伝子変異)
⑤短期成績(術後合併症の有無、周術期死亡率の有無)
⑥長期成績(術後再発の有無、死亡の有無、死因)

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者 呼吸器外科 副部長 松浦 陽介
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表) FAX番号03-3520-0141